



日時
会場

平成28年12月19日(月) 13:30~16:40

広島大学生物生産学部 講義・管理棟C 2階C206号教室
(広島県東広島市鏡山1丁目3番2号)

耕畜連携を通じて TMRセンターが目指す地域活性化!

Total Mixed Ration

趣旨：日本畜産の大きな課題として、低い飼料自給率があります。一方、中山間地域では、農地やそこで生産可能な作物といった資源を活用して、持続的な農業経営の発展が望まれています。このような課題解決に向けた考え方として、地域にある資源を畜産の飼料生産に向けて活用する耕畜連携があります。この考え方を實現し、有効に機能させているのが、地域のTMRセンターです。
広島県のみわTMRセンターでは、地域の水田で生産された飼料イネを買い取り、TMRに調製して酪農家や畜産農家に販売する事業を展開しています。この事業がもととなり、地域の飼料イネの生産面積が拡大し、畜産農家への飼料供給を増加させています。
本セミナーでは、みわTMRセンターの活動とその地域への貢献について紹介し、地域資源のさらなる活用と地域活性化を目指して、産学連携による研究課題の掘り起こしを農家、行政、研究者の間で議論します。

(受付 13:00~)

参加無料

1. 講演 13:30~15:15

開会あいさつ

講演1 「地域資源を活用するTMRセンターの展開と課題」

岡山大学農学部 教授 横溝 功氏

講演2 「TMRセンターを基軸とした“たちすずか”での耕畜連携」

広島県立総合技術研究所 畜産技術センター 総務部管理課 管理課長 神田則昭氏

2. 総合討論 15:30~16:10

~休憩(15分間)~

テーマ：「TMRセンターの技術的課題と地域連携について」

司会：農林水産省産学連携コーディネーター

広島大学生物生産学部 准教授 黒川 勇三 氏
岡山大学農学部 教授 舟橋 弘晃 氏

パネラー：

講師2名

広島県酪農業協同組合

農事組合法人清流の里ファーム庄原

事業推進課係長 竹ノ内寛治氏

前代表 清水 忠昭氏

3. 個別相談 16:10~16:40

各講師及びCDによるマッチング、競争的研究資金等の相談



〈会場アクセス〉
各駅より広島大学行バスを利用(約20分)
◆ JR西条駅・八本松駅⇒
「大学会館前」下車 徒歩約5分

〈主催〉 特定非営利活動法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会、農林水産省
〈共催〉 広島大学大学院生物圏科学研究科、
日本型(発)畜産・酪農技術開発センター(RCAS)
〈後援〉 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会(JATAFF)

〈問合せ・申し込み先〉
特定非営利活動法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会(略称:NPO法人中国四国アグリテック)
tel 086-237-3340 fax 086-201-0551 E-mail agri@key.ocn.ne.jp http://www.agritech2007.com/
以下の申込書をFAXしていただくか、メールにてお申し込みください。 *申込締切：12月12日(月) 定員を超過しお断りする場合のみご連絡いたします。ご提出頂いた個人情報は、本セミナーに係ること以外には使用いたしません。

| | |
|-----|-----------------------|
| お名前 | 電話番号/FAX番号 |
| ご所属 | ※個別相談 希望する ・ 希望しない |